

人文・文化学群

人文・文化学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類という、各々独自の特色を持つ3つの学類から構成され、人文系及び文化系の教育の総合的な発展を目指す、他大学にはないユニークな教育組織です。

人文系と文化系の学問の豊かな知見と確かな成果を基に、更にはグローバル化する世界も視野に入れながら、多様で質の高い教育を実現し、優れたコミュニケーション能力を持ち、先見性・創造性・独創性に富み、国際的にも活躍できる、卓越した人材を育成することを目標としています。(写真はJICA筑波国際センターにて。日本語・日本文化学類の1年生がセンターを訪れて研修生と交流)



社会・国際学群

社会・国際学群は、社会科学分野の総合的な専門教育を担う社会学類と、社会科学を中心に発展的・応用的な学融合教育を担う国際総合学類から構成されます。

社会学類では、社会学・法学・政治学・経済学の一つを重点的に学習しつつ、関連領域を自由に選択することで、専門性を磨き、総合的な視野を養います。

国際総合学類では、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発に加え、情報・環境学についても学び、英語によるコミュニケーション能力及び高度な情報処理能力を備えた国際人育成のための教育を行います。(写真はタイ、マレーシアとの遠隔授業風景)



人間学群

人間学群の教育の特徴は、構成する3つの学類間の垣根をできるだけ低くしていることです。具体的には、学群共通科目(コアカリキュラム)を充実させ、3学類の基幹授業(教育学・心理学・障害科学)を全ての学群生が履修できるようにしています。さらに、所属学類以外の2学類の専門についても学習できるよう、学類間での授業履修への理解が図られて

います。また、タイ国での日本語教育実習など、国際的な視点を実地に学べるのも特色の一つといえるでしょう。(写真は『社会認識教育論』の授業風景)



生命環境学群

生命環境学群は、今世紀に入り社会的にも大きな注目を集めている「生命と環境」を共通キーワードとする「生物学類」「生物資源学類」「地球学類」の3学類から構成されており、組織構成員、教育研究分野とも大学院(生命環境科学研究科)とほぼ同一です。本学群の教育目標は、問題発見・解決型能力を身につけ豊かな人間性を育むことにより、わが国の生命環境科学分野の中心的な担い手となる人材、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材を育成することです。(写真は地球学類でのスイスの氷河を調べる海外野外実習)



理工学群

理工学群は、理学と工学の主幹となる学問分野とともに学際的な分野も取り入れ、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類の6学類を置いています。理学と工学の領域において、持続可能な社会に必要とされる幅広い教養、理論的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る確かな専門性を身に付けさせる教育を目指します。また、知的創造、問題発見・解決の能力を有する広い視野と豊かな人間性をもつ人材の育成を指向します。(写真は社会工学類の汐留シオサイト工事現場見学)



情報学群

今後の情報化社会において、技術立国を標榜する我が国の情報基盤を支える優れた人材の育成は重要な課題です。

情報学群では情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の3学類をおき、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動に関わる様々な情報技術とその原理となる科学とともに、情報技術によって支えられる人間の知的活動とその社会的・文化的基盤を十分に教育し、21世紀の情報社会の創造を担う人材を育成します。(写真はコンピュータリテラシー教育の風景)



医学群

医学類、看護学類、医療科学類の3学類があります。何れの学類でも医療職を目指して、それぞれの国家資格(医師、看護師、各種の医療検査技師など)を取得すべく勉学に励み、これまで高い合格率を誇っています。医療や医学研究にあつては考え方が日々変化し、知識量も急激に増大していますので「自分で問題を考え、解決する」力と方法を習得して、医療現場で適切に諸問題を解決する能力を養うことを目標にしています。(写真は医学類の臨床実習)



体育専門学群

体育専門学群では、体育・スポーツ・健康に関する最新の科学的な研究成果を活用しながら、優れた運動技能と幅広い運動経験を持ち、かつ保健体育に関する総合的知識を備えた指導力と活力に富む人間性豊かな指導者の養成を目指しています。

本学群の学生は、実技授業や運動部により自己の運動技能を高めながら、2年生から職業に対応した主専攻(健康・スポーツ教育、健康・スポーツマネジメント、スポーツコーチング)に、さらに3年生からは体育・スポーツ科学の学問領域に対応した卒業研究領域(体育学、健康体力学、運動学)に所属し、職業と学問の両面から体育・スポーツについて学び、卒業論文を完成させて卒業します。また、外国の大学との国際交流を促進しています。(写真はスキー実習での根子岳ツアー)



芸術専門学群

芸術専門学群は、毎年2月に茨城県つくば美術館でその年度の卒業生全員による卒業制作展を開催します。広い視野と確かな基礎学力を持ち、柔軟な発想力と表現力を備えた美術・デザインに関する専門家の育成という本学群の教育目標は、それぞれの学生の4年間の学習成果となって卒業制作展に結実します。

本学群では卒業研究として、芸術学には論文を、美術・構成・デザインには作品と論文を課しており、その成果は更に15のコース・領域に分けられるという多種多様な様相を呈しています。優秀作品等は筑波大学芸術賞や若溪会賞として顕彰され、一部が大学に収蔵されます。今年度で第31期生となる卒業生が、美術・デザイン界で活躍する多くの同窓と同様に世界に向けて飛躍することが期待されます。(写真上段は平成21年度卒業制作展Ⅰ期(芸術学・美術)、下段は卒業制作展Ⅱ期(構成・デザイン))

